

令和2年 死亡災害発生の概要（製造業）

確定版
大阪労働局 労働基準部 安全課

| 番号 | 発生日 | 業種 | 性別 | 年齢 | 職種 | 経験 | 事故の型 | 起因物 | 発生状況 |
|----|-----|------------------|----|-----|--------------|-----|------------|------------|--|
| 1 | 1月 | プラスチック製品製造業 | 男 | 60代 | プラスチック製品製造工 | 21年 | 墜落、転落 | トラック | フォークリフトを使用して貨物自動車の荷台からフレコンバッグを降ろすため、荷台上のフレコンバッグの上に乗って、フォークリフトのフォークに、フレコンバッグに取り付けたロープを結びつける作業を行っていたところ、バランスを崩し、フレコンバッグの上から2m墜落した。 |
| 2 | 6月 | クリーニング業 | 男 | 50代 | 管理者 | 3年 | はさまれ、巻き込まれ | その他の一般動力機械 | 洗濯したタオルを乾燥後にほくす機械（1.58m長さ2mのコップ状の回転体。以下「シェイカー」という。）にて目詰まりが発生した為、解消作業を行いに行ったが、戻って来ないので同僚が見に行ったところシェイカー内で倒れていた。 |
| 3 | 7月 | 造船業 | 男 | 50代 | 作業員 | 10年 | 有害物等との接触 | 異常環境等 | 貨物船のボイドスペースの水抜き作業中、ポンプホースの位置を変えるためマンホールから内部へ降りていたところ、酸素欠乏症にかかった。 |
| 4 | 7月 | 造船業 | 男 | 40代 | 作業員 | 19年 | 有害物等との接触 | 異常環境等 | 同僚の救助のため内部へ降りて行ったところ、酸素欠乏症にかかった。 |
| 5 | 7月 | 機械（精密機械を除く）器具製造業 | 男 | 50代 | 作業員・技能者 | 33年 | 墜落、転落 | はしご等 | 工場屋根の雨漏りを修理するため、はしご（高さ4～5m）に登り作業をしていたところ、バランスを崩し落下した。 |
| 6 | 7月 | 金属プレス製品製造業 | 男 | 30代 | 金属加工・金属製品検査工 | 7年 | はさまれ、巻き込まれ | プレス機械 | 1500トンプレスにて、2人で鋼板を挟んで東西に分かれて歪みをとる作業を行っていたところ、東側労働者の上半身が鋼板上に被さった状態にあったときにプレスが稼働した。 |
| 7 | 10月 | 製鉄・製鋼・圧延業 | 男 | 50代 | 運転者 | 13年 | 転倒 | フォークリフト | コイル状の伸線（約2t）を、フォークリフトにより運搬中、転倒。その拍子に外に放り出され、転倒してきたフォークリフトのヘッドレスト部に頭部を挟まれた。 |
| 8 | 10月 | 自動車整備業 | 男 | 40代 | 特殊自動車運転者 | 4年 | はさまれ、巻き込まれ | トラック | 故障したトラックをレッカー車で移動させるための準備中、レッカー車のけん引装置を固定しようとしたところ、トラックが動き出し、トラック前部とレッカー車後部に頭部を挟まれた。 |
| 9 | 12月 | 合板製造業 | 男 | 40代 | その他の職種 | 23年 | はさまれ、巻き込まれ | その他の一般動力機械 | 機械のメンテナンス作業を行っていたところ、自動送り装置の調整時に、自動送り装置のセンサーに触れたため、装置が稼働し胸を挟まれた。 |

令和2年 死亡災害発生の概要（建設業）

確定版
大阪労働局 労働基準部 安全課

| 番号 | 発生月 | 業種 | 性別 | 年齢 | 職種 | 経歴 | 事故の型 | 起因物 | 発生状況 |
|----|-----|---------------------|----|-----|------|------|-------------|----------------|--|
| 1 | 2月 | 橋梁建設工事業 | 男 | 40代 | とび工 | 9年 | 墜落、転落 | その他の乗物 | 橋梁架設工事現場において、土運船（台船）に乗り、作業構台へ係留するため、作業構台側の労働者から係留用ロープを受け取るようしていた際、土運船が作業構台に衝突したことにより、衝撃で落水し、土運船と作業構台の間に胸部を挟まれた。 |
| 2 | 2月 | 鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事業 | 男 | 40代 | 解体工 | 30年 | 火災 | ガス溶接装置 | 解体工事において鉄骨3階建の屋根部分の鉄骨をガスバーナーで切断していたところ、切断した高温の金属片が壁と床の隙間から1階に落ちて出火し、消火中に火傷を負った。 |
| 3 | 3月 | 木造家屋建築工事業 | 男 | 60代 | 大工 | 46年 | 墜落、転落 | 建築物、構築物 | 木造2階建て新築工事において、作業を終え、後片づけを行っていたところ、躯体の2階から墜落した。 |
| 4 | 4月 | 上下水道工事業 | 男 | 50代 | 土工 | 27年 | 崩壊、倒壊 | 地山、岩石 | 配管設置作業において、ドラグショベルで掘削（幅1.4m 長さ19.4m 深さ約2.7m）後、坑内に下り、配管設置作業を行っていたところ、掘削面の地山（高さ2.5m×長さ2.45m×幅1.2m）が崩壊し、土壁の下敷きとなった。 |
| 5 | 4月 | 木造家屋建築工事業 | 男 | 40代 | 塗装工 | 24年 | 墜落、転落 | 屋根、はり、もや、けた、合掌 | 平屋建て倉庫のスレート屋根塗り替え作業中、スレートを踏み抜き4.79m下に墜落した。 |
| 6 | 5月 | 道路建設工事業 | 男 | 40代 | 管理者 | 15年 | はさまれ、巻き込まれ | 締固め用機械 | 道路舗装工事において、道路の矢印標識を行う位置にしゃがんでチョークでマーキングをしていたところ、アスファルトの締固めのため後進してきたタイヤローラーにひかれた。 |
| 7 | 7月 | 電気通信工事業 | 男 | 20代 | 電工 | 11ヶ月 | 感電 | 送配電線等 | 光ファイバー複合架空地線張替工事において、鉄塔上でボルト締作業に従事していたが、移動した際に2丁掛けの墜落制止用器具（安全帯）の本フックが特別高圧架空電線の放電エリアに入ってしまい感電した。 |
| 8 | 7月 | 木造家屋建築工事業 | 男 | 40代 | 解体工 | 2年 | 高温・低温の物との接触 | 高温環境下での熱中症 | 個人宅解体工事現場で作業中、突然倒れて、救急搬送されたが熱中症により死亡した。 |
| 9 | 9月 | 建築設備工事業 | 男 | 30代 | ダクト工 | 5年 | 墜落、転落 | 高所作業車 | 設備改修工事において、倉庫天井への墨出し作業を高所作業車で行っていたところ、約5m下の床に墜落した。 |

| 番号 | 発生月 | 業種 | 性別 | 年齢 | 職種 | 経験 | 事故の型 | 起因物 | 発生状況 |
|----|-----|-----------|----|-----|---------|-----|------------|--------|---|
| 10 | 9月 | 土地整理土木工事業 | 男 | 40代 | 土工 | 11年 | 崩壊、倒壊 | 地山、岩石 | 宅地造成工事において、下水管敷設のため、幅90cm深さ2m長さ1.4mの溝をドラグショベルで掘削後、溝の深さを1人で測定していたところ掘削面が突然崩壊し、土砂に埋もれた。 |
| 11 | 10月 | 道路建設工事業 | 男 | 60代 | 土工 | 10年 | はさまれ、巻き込まれ | 締固め用機械 | 道路舗装復旧工事において、アスファルト舗装の締固めを行っていたコンバインローラーにひかれた。 |
| 12 | 10月 | 電気通信工事業 | 男 | 40代 | 作業者・技能者 | 7年 | 崩壊、倒壊 | 地山、岩石 | 土砂の崩壊を防止するために1メートル四方のコンクリートブロックを7段積み上げていたが、土砂が崩壊したため、積み上げられていたコンクリートブロックが崩れ、付近にあったプレハブ小屋にコンクリートブロックが直撃し、プレハブ小屋の中で警備機器取付の作業を行っていた被災者が死亡した。 |

令和2年 死亡災害発生の概要（運輸業）

確定版
大阪労働局 労働基準部 安全課

| 番号 | 発生月 | 業種 | 性別 | 年齢 | 職種 | 経歴 | 事故の型 | 起因物 | 発生状況 |
|----|-----|------------|----|-----|----------|-----|--------------|------|--|
| 1 | 2月 | 一般貨物自動車運送業 | 男 | 60代 | 貨物自動車運転者 | 5年 | 交通事故 (道路) | トラック | 路肩にトラックを停車させて運転席から降り、トラックの前方で立っていたところ、トラックの後方にタンクローリーが追突し、前方に押し出されたトラックのタイヤの下敷きとなった。 |
| 2 | 3月 | 一般貨物自動車運送業 | 男 | 40代 | 運転者 | 6年 | 交通事故 (道路) | トラック | トラックで高速道路を走行中、渋滞で停止していたトラックの後方に追突した。 |
| 3 | 7月 | 特定貨物自動車運送業 | 男 | 40代 | 運転者 | 19年 | 交通事故 (道路) | トラック | タンクローリーを運転中、高速道路の出口付近において、トラックに追突した。 |
| 4 | 7月 | 一般貨物自動車運送業 | 男 | 40代 | 貨物自動車運転者 | 19年 | 交通事故 (道路) | トラック | トラックを運転し、高速道路のトンネル内を走行中、ハンドル操作を誤り側壁にぶつかり、車外へ投げ出されて、壁に頭を打った。 |
| 5 | 7月 | 一般貨物自動車運送業 | 男 | 30代 | 事務員 | 3年 | 交通事故 (道路) | トラック | トラックの助手席に乗っていたところ、当該トラックが高速道路上で渋滞で停車していたトラックに追突した。 |
| 6 | 10月 | 一般貨物自動車運送業 | 男 | 50代 | 運転者 | 4年 | 激突され | 荷姿の物 | 10トン車の冷蔵商品配送車から荷下ろし作業中、積み荷を手前に引き出したところ、勢いのあまり積み荷が傾き、被災者の頭上に激突した。 |
| 7 | 12月 | 一般貨物自動車運送業 | 男 | 60代 | 運転者 | 47年 | はさまれ、巻き込まれ | トラック | 構内において、トラックを前進させようとした際、車止めの取り忘れに気づき、エンジンを切らずにシフトをニュートラルにした状態で降車し、左前輪部の車止めを外したところ、路上が傾斜していたため動き出したトラックと前方に停車していた他車との間に挟まれた。 |
| 8 | 12月 | 一般貨物自動車運送業 | 男 | 40代 | 貨物自動車運転者 | 20年 | 交通事故 (道路) | トラック | トラックにて自動車専用道路を走行中、トンネル内の車線規制による渋滞中のところ、トンネル入口付近で最後尾の大型貨物自動車に追突した。 |

令和2年 死亡災害発生の概要（その他）

確定版
大阪労働局 労働基準部 安全課

| 番号 | 発生日 | 業種 | 性別 | 年齢 | 職種 | 経験 | 事故の型 | 起因物 | 発生状況 |
|----|-----|-----------|----|-----|----------|-----|------------|------------|--|
| 1 | 1月 | 警備業 | 男 | 60代 | 警備員 | 7年 | はさまれ、巻き込まれ | その他の建設機械等 | 市道の舗装作業の警備中に後退してきた路面切削機と接触し、路面切削機の後輪にひかれた。 |
| 2 | 1月 | その他の小売業 | 女 | 40代 | 販売店員 | 14年 | 交通事故（道路） | 乗用車、バス、バイク | 自転車で銀行に向かう途中、交差点で信号待ちをしていたところ交差点角の自動車販売店から出てきた展示車に自転車ごとひかれた。 |
| 3 | 2月 | その他の事業 | 男 | 30代 | 作業員・技能者 | 6年 | 転倒 | フォークリフト | 資材置場において、フォークリフトにより荷を下ろした後、荷を積まずフォークを最大に上げた状態で直進後、旋回したところ、フォークリフトが傾き始め、運転席左側から外に放り出された際、転倒してきたフォークリフトの運転席フレームに頭部を挟まれた。 |
| 4 | 2月 | ビルメンテナンス業 | 男 | 70代 | 清掃員 | 41年 | 墜落、転落 | 建築物、構築物 | 建物の窓ガラス清掃中、2階の窓枠と壁の厚みの部分に足を置き、窓の外側を清掃していたところ、4.85m下の地面に墜落した。 |
| 5 | 3月 | その他の事業 | 男 | 20代 | 運転者 | 7年 | 有害物等との接触 | 有害物 | オークションで購入したトラックを引き取り、帰る途中で仮眠をとろうとしたが、暖房がきかなかったため、荷台（箱車）に載せていた社用車のエンジンをかけ仮眠していたところ、一酸化炭素中毒により死亡した。 |
| 6 | 3月 | その他の商業 | 男 | 40代 | その他の職種 | 19年 | その他 | その他の起因物 | 新型コロナウイルス感染症により死亡した。 |
| 7 | 4月 | その他の林業 | 男 | 60代 | 集材・運材作業員 | 30年 | 墜落、転落 | 地山、岩石 | 伐倒木等のずり出し作業のため、伐倒木等へのワイヤロープ掛け等を斜面上で担当していたが、作業場所から姿が見えなくなり、かつ、呼びかけにも応じなかったため、所在を確認したところ、斜面上に設けられた退避場所で吐血して倒れていた。 |
| 8 | 4月 | その他の卸売業 | 男 | 60代 | 作業員・技能者 | 3年 | 墜落、転落 | はしご等 | 倉庫内で移動はしごを使用して、高さ約3mの場所に置かれた段ボール箱を下ろうとした際に移動はしごから墜落した。 |
| 9 | 4月 | ビルメンテナンス業 | 男 | 70代 | 作業員・技能者 | 12年 | 交通事故（道路） | 乗用車、バス、バイク | 自転車で管理事務所へ向かう途中、交差点で左折してきた車両にはねられた。 |
| 10 | 4月 | その他の金融業 | 男 | 60代 | 事務員 | 9年 | その他 | その他の起因物 | 事業所で勤務する従業員に発熱等の症状が出たため、PCR検査を受けたところ、新型コロナウイルス感染症に患っていると判定され加療していたが症状が悪化し死亡した。 |

| 番号 | 発生日 | 業種 | 性別 | 年齢 | 職種 | 経験 | 事故の型 | 起因物 | 発生状況 |
|----|-----|----------|----|-----|---------|------|------------|------------|---|
| 11 | 6月 | 映画製作・配給業 | 男 | 50代 | 技術者 | 10年 | 墜落、転落 | 地山、岩石 | テレビ番組の取材のため高さ5m程度の磯で、釣り人が魚を釣り上げることを撮影し、撮影場所を変更するため移動していたところ、バランスを崩し墜落した。 |
| 12 | 6月 | その他の事業 | 男 | 60代 | 清掃員 | 3年 | 転倒 | 分類不能 | 清掃業務として、植込みの木に張られたクモの巣の除去を行っていたところ、急に倒れこみ、頭部を強打した。 |
| 13 | 7月 | 農業 | 男 | 50代 | 造園工 | 25年 | 交通事故（道路） | トラック | 高速道路の植栽点検作業のため、路肩に車を停めて降車し、徒歩で移動していたところ、トラックが走行車線側の法面に乗り上げた状態で向かってきてひかれた。 |
| 14 | 8月 | 警備業 | 男 | 70代 | 建設現場誘導員 | 1年 | はさまれ、巻き込まれ | 掘削用機械 | 河川整備工事において、交通誘導を行っていたがドラグ・ショベルの作業範囲に立入った際に後進してきたドラグ・ショベル（機体重量1t以上）にひかれた。 |
| 15 | 11月 | その他の小売業 | 男 | 50代 | 作業員・技能者 | 1ヶ月 | はさまれ、巻き込まれ | 解体用機械 | 産業廃棄物の中間処理を行う建屋内において、解体用つかみ機を用いて産業廃棄物の破碎作業等を行っていたところ、同機械の進行方向付近で人力により鉄くずの運搬等を行っていた被災者がひかれた。 |
| 16 | 11月 | 新聞販売業 | 女 | 60代 | 配達員 | 9ヶ月 | 交通事故（道路） | 乗用車、バス、バイク | バイクで朝刊配達業務中、何者かにより後方から追突された。 |
| 17 | 11月 | 警備業 | 女 | 20代 | 警備員 | 2年 | 交通事故（道路） | 乗用車、バス、バイク | 道路工事現場において、交通規制区域内で警備業務を行っていたところ、工事区間の交通規制に従わなかった車両にはねられた。 |
| 18 | 11月 | 警備業 | 男 | 70代 | 警備員 | 19ヶ月 | 転倒 | 通路 | 補修工事を終了した道路の陥没に備えて警備をしていたが、道路上に倒れているところを通行人に発見され救急搬送された。 |
| 19 | 12月 | その他の事業 | 男 | 40代 | 作業員・技能者 | 10年 | 墜落、転落 | 開口部 | 既設マンション屋上の消防設備点検作業において、脚立を使用して煙感知器の点検を行った後、1.2メートル後方にある開口部から、16.7メートル下に墜落した。 |